

## 4年1組 国語科学習指導案

場 所 4年1組教室  
授業者 小木曾 真子

### 1 単元・教材名 場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう 「一つの花」

### 2 指導の立場

#### (1) 教材観

本単元では、「一つの花の心に残ったことを紹介する」という活動に向けて、場面の移り変わりに注意しながら読んだり、登場人物の気持ちや情景などを叙述をもとに読み取ったりする力を身に付けることをねらいとする。

本教材は、登場人物は家族3人のみであり、場面も戦争中と戦争後というように児童にとっては捉えやすい構成となっている。本文中に繰り返し用いられる「一つだけ」という言葉に着目して読むことを通して、「ゆみ子」が生きている戦争中の厳しい時代背景やどんなものでもたった一つしか与えられないことへの父母の気持ち、「一つだけ」と言えば何でももらえると思っている「ゆみ子」への父母の気持ちを想像することができると考える。また、父の出征から十年後、コスモスの花に包まれた場面が描かれていることで大きく時代が変化したことを捉えることができる作品である。

また、現在児童は平和な日本という国で暮らしている。ところが、かつての日本は戦争をし、その戦争によって厳しい生活を強いられたり、満足に生活することさえ許されなかったりした。児童は、自国がそのような状況であったことや自分よりも幼い子どもが戦争というものを理解しないまま翻弄されていたことに対して、大きく心を動かされるはずである。

#### (2) 児童の実態

児童は4年生の「白いぼうし」では、松井さんの人柄を叙述をもとに読み取ることを学習している。その際、松井さんの会話や行動描写、心情描写に着目して、松井さんの優しい人柄を想像することができた。しかし、松井さん以外の会話や行動描写に線を引いて、松井さんの人柄を読み取ってしまったたり、線を引くことはできても読み取ったことを自分の言葉で表現できなかったりする児童も1～2割ほど見られた。

また、「読むことについて考えよう」の単元では、「かげ」というお話を読んで、相手に興味をもってもらえるように紹介文を書くことを学習した。その際、相手の興味を引くように内容をまとめたり、心に残った文章や言葉を引用したりして紹介することが31人中28人できた。

発言に対しては消極的な児童が多く、自分と同じような意見が出てしまうと挙手をやめてしまったり、違う意見があるのに発表しようとしなかったりする児童もいる。

#### (3) 指導観

##### 【研究内容1】に関わって

第三次の言語活動として「心にのこったことをしょうかいする」ことを位置付け、言語意識を次のように設定する。

相手意識・・・・・・・・家・園の人に

目的意識・・・・・・・・心に残ったことを紹介するために

方法意識・・・・・・・・心に残っている場面や文、言葉を取り上げ、それに対する感想を書いて

場面・状況意識・・・・一つの花を紹介する

評価意識・・・・・・・・心に残っている場面や文、言葉を取り上げ、感想を書いている。

本単元では、場面の移り変わりに注意しながら読んだり、登場人物の気持ちや情景などを、叙述をもとに読み取ったりする力を身に付けたい。心に残ったことを紹介するという言語活動を設定することで、戦争の苦しさや「ゆみ子」に対する父母の思いの深さ、戦争が終わって平和が訪れたことに着目して読むことができると考える。

また、本単元を学習する前に、「読むことについて考えよう」という単元で、「かげ」というお話を心に残った文章や言葉を引用して紹介することを学習した。そうすることで、本単元で

も心に残ったことが紹介できるように、場面の様子や登場人物の気持ちに着目して読むことができる考える。

#### 【研究内容2】に関わって

本教材では、1場面は「ゆみ子」が生活している時代背景、2場面では父母の「ゆみ子」への深い愛情、3場面では十年後の時代背景の変化や「ゆみ子」自身の変化について読み取らせたい。そこで、児童がつまづくことなく一人読みに取り掛かり、的確に読むことができるよう、1場面の課題を「ゆみ子が生活している時代の様子を読み取ろう。」とし、時代の様子を表す文や言葉に着目できるようにする。2場面では、「ゆみ子に対するお父さんとお母さんの気持ちを読み取ろう。」という課題を設定し、お父さんやお母さんがゆみ子に対して深い愛情をもって、自分たちにできる精一杯のことをしていることに気付かせたい。3場面では、「十年後の時代の変化を読み取ろう。」という課題を設定し、主に1場面と比較して、一つだけのコスモスがいっぱいに含まれることに象徴されるように、平和な時代になったことを読み取らせたい。

また、一人読みでは、教科書に線を引き、読み取ったことをノートに書くよう指導する。線を引くことができない児童には、お父さんの会話、行動描写、心情描写、－（ダッシュ）に着目できるよう声をかける。ゆみ子に対する気持ち以外の部分に線を引いてしまう児童には、誰の言葉・行動なのか、その対象となる相手は誰なのかを整理することで、課題に対して的確に線が引けるよう支援する。線を引くことはできても気持ちを読み取ることができない児童には、教師と役割演技や部分音読をするなどして気持ちが想像できるように支援する。その際、5年生児童のノートを見せたり、仲間のノートを見せたりするなどして、構造的なノート作りができるようにすることを通して、読みをつなげたり深めたりすることができるようにしたい。

#### 【研究内容3】に関わって

交流前段において、本文の前の方の叙述から発表すること、「～～ということを読み取りました。わけは、○ページに・・・・と書いてあるからです。」という話形で発表することを指導する。そうすることで、児童の思考の流れを途切れ途切れにならないようにしたい。また、板書に掲示するキーワードとなる言葉を精選し、すっきりと見やすい板書になるように努めることで児童の思考の混乱を避けたい。

交流後段においては、深めの発問『「ゆみ子」が言う「一つだけ」とお父さんが言う「一つだけ」は同じだろうか。』を投げかけ、「ゆみ子」にとっての「一つだけ」は言えば何でももらえる魔法の言葉のようなものであり、一つではなくいくつもあるのに対して、お父さんにとっての「一つだけ」はこれから戦争に行き、もう二度と「ゆみ子」のもとへ帰ってくることができないかもしれない本当に最後の「一つだけ」であることに気付かせたい。そして、お父さんがどんな思いで「ゆみ子」に一輪のコスモスを渡して汽車に乗って行ったのか想像させ、「ゆみ子」の幸せや平和を願う父の気持ちに気付かせたい。

### 3 単元の目標

- ◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。【読（1）ウ】
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることができる。【読（1）エ】
- 物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。【読（1）オ】

#### 4 単元指導計画（全7時間計画）

| 週       | 時       | 主な学習活動（課題・着目する語句・深めの発問）                                                                                                                                                                                     | 単元を貫く課題／言語活動                                | 評価規準【観点】                                                                                                 |
|---------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第一<br>次 | 1       | 単元をつらぬく課題を作ろう。<br>・単元名・リード文から学習の見通しをもつ。<br>・初読の感想から単元を貫く課題を作る。<br>・場面分けをする。                                                                                                                                 | 場面の様子や登場人物の気持ちに着目して読み、心の中のこっていることをしようかいしよう。 | ・単元の見通しをもち、初読の感想から単元を貫く課題を考えている。【関心・意欲・態度】                                                               |
|         | 2       | ① ゆみ子が生きている時代の様子を読み取ろう。<br>・1場面を読み、ゆみ子が生きている時代の様子を読み取る。<br>着目：「戦争のはげしかったころ」「どこへ行ってもありません」「おいもと豆やかぼちゃしかありません」「毎日、てきの飛行機」「ぼくだんを落として」「町は…はいになって」「いつもおなかをすかして」「いくらでもほしがる」「一つだけ」<br>深め：なぜ「一つだけ」がお母さんの口癖になったのだろう。 |                                             | ・「ゆみ子」が生きている時代について考えることを通して、食べ物も満足になく、毎日爆弾が落ちてくるかもしれないという厳しい環境の中で生きていることを読み取っている。【読（1）ウ】                 |
| 第二<br>次 | 3       | ②（1）ゆみ子に対するお父さんとお母さんの気持ちを読み取ろう。<br>・P.73までを読み、ゆみ子に対する父母の気持ちを読み取る。<br>着目：「かわいそうな子」「深いため息」「一つだけの…」<br>「めちゃくちゃに高い高い」<br>深め：なぜお父さんは「ゆみ子」をめちゃくちゃに高い高いするのだろう。                                                     |                                             | ・「ゆみ子」に何でも「一つだけ」しか与えられない父母の気持ちを考えることを通して、何も与えられないことを悲しみ、「ゆみ子」の将来を憂い、せめてもの思いで高い高いをする父の気持ちを読み取っている。【読（1）ウ】 |
|         | 4<br>本時 | ②（2）ゆみ子に対するお父さんの気持ちを読み取ろう。<br>・P.74からを読み、ゆみ子に対する父母の気持ちを読み取る。<br>着目：「みんなおやりよ」「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー。」<br>深め：「ゆみ子」が言う「一つだけ」と、お父さんが言う「一つだけ」は同じだろうか。                      |                                             | ・「ゆみ子」に一輪のコスモスを渡す父の気持ちを考えることを通して、「ゆみ子」の幸せや平和を願う父の気持ちを読み取っている。【読（1）ウ】                                     |
|         | 5       | ③ 十年後の時代の変化を読み取ろう。<br>・3場面を読み、十年後の時代の変化を読み取る。<br>着目：「コスモスの花でいっぱい」「ミシンの音」「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの」「スキップ」「ゆみ子が小さなお母さん」<br>深め：「一つだけ」という言葉が3場面に出てこないのはなぜだろう。                                                          |                                             | ・戦争中の時代背景と戦争後の時代背景を比較することを通して、「ゆみ子」が成長していることや食べ物や物が豊かになったことを読み取っている。【読（1）ウ】                              |
| 第三<br>次 | 6・7     | 一番心の中のこったことを中心に、一つの花をしようかいしよう。<br>・これまでに書き溜めてきたまとめをもとに、「一つの花」を紹介する文章を書き、交流する。                                                                                                                               |                                             | ・「一つの花」を読んで心に残った場面や文、言葉を引用したり要約したりして、それに対する自分の感想を書いて「一つの花」を紹介する文章を書いている。【読（1）エオ】                         |

5 本時のねらい

2 場面後半のお父さんの気持ちについて考える活動を通して、これから戦争へ行かなければならないお父さんが最後になるかもしれない「一つだけ」の花を渡す気持ちに気づき、「ゆみ子」の幸せや平和を願うお父さんの気持ちを読み取ることができる。

6 本時の展開（4／9）

＊人権教育の観点

|           | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ○指導・支援 ◆見届けの視点                                                                                                                              |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入        | <p>1 前時までの学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 場面前半は、何でも一つだけしかあげられなくてお父さんとお母さんが悲しんでいた。</li> <li>・ せめてもの思いで「ゆみ子」をめちゃくちゃに高い高いしていた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>○前時までの流れを想起し、本時の課題を確認する。</p> <p>○掲示や自分のノートのとめを見て振り返っている児童を価値づける。</p>                                                                     |
| 個人追究／交流前段 | <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p><b>2 (2) ゆみ子に対するお父さんの気持ちを読み取ろう。</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>○会話文、行動描写、心情描写、－（ダッシュ）に着目して読み取ることを確認する。</p> <p>○教科書に線を引き、読み取った気持ちをノートに書くことを確認する。</p>                                                     |
|           | <p>3 一人読みをして、全体交流をする。</p> <p>「みんなおやりよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分はいいから「ゆみ子」にあげて。</li> <li>・ 「ゆみ子」に喜んでほしい。</li> </ul> <p>「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゆみ子」に喜んでほしい。</li> <li>・ もうこれだけしかあげるものがない。</li> <li>・ 自分はこれから戦争に行かなければならない。もう会えないかもしれない。</li> </ul> <p>「ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゆみ子」さようなら。</li> <li>・ 幸せになってね。</li> <li>・ 平和な時代が来ますように。</li> </ul> | <p>＊言葉を手がかりに父の気持ちを豊かに想像する力を育てる。（自己啓発力）</p> <p>○気持ちを読み取ることができない児童には、お父さんがこれから戦争に行かなければならない状況を確認した上で役割演技や部分音読をするなどして、気持ちを想像することができるようにする。</p> |
|           | <p>4 深めの発問を提示して読みを深める。</p> <p>ゆみ子が言う「一つだけ」とお父さんが言う「一つだけ」は同じだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゆみ子」は「一つだけ」と言えば何でももらえると思っている。</li> <li>・ 「ゆみ子」にとっての「一つだけ」はいくつもある。</li> <li>・ お父さんはこれから戦争に行かなければならず、もう「ゆみ子」に会えないかもしれないから、最後になるかもしれない本当に「一つだけ」しかない。</li> </ul> <p>補：そんな最後の「一つだけ」の花には、お父さんのどんな気持ちが込められているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ゆみ子」に幸せになってほしい。</li> <li>・ 早く戦争が終わって、平和になってほしい。</li> </ul>                                               | <p>○これから戦争に行かなければならないお父さんは、もう「ゆみ子」に会えないかもしれないから、「ゆみ子」に幸せになってほしい、早く戦争が終わって平和な時代が来てほしいという願いを込めて一輪のコスモスを渡したことに気付かせる。</p>                       |
| 交流後段      | <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <p>わたしは「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだようー。」のところが心にのこりました。わけは、自分は戦争に行かなければならなくて、もうゆみ子に会えないかもしれないから、ゆみ子の幸せや平和をねがって一輪の花をわたくししているお父さんの気持ちに感動したからです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>◆定着状況の見届け<br/>心に残った場面や文、言葉を引用したり要約したりして書き、それに対する自分の感想を書くことができるか。</p>                                                                     |
| まとめ       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>【評価規準】<br/>これから戦争へ行かなければならないお父さんが最後になるかもしれない「一つだけ」の花を渡す気持ちに気づき、「ゆみ子」の幸せや平和を願うお父さんの気持ちを読み取っている。</p>                                       |